

医学系図書館におけるプリントコレクション

たち たづこ
館 田鶴子

(メディアセンター本部事務長付)

みたにみえこ
三谷三恵子

(信濃町メディアセンター主任)

かどや ひさし
角家 永

(信濃町メディアセンター主任)

1 はじめに

Merritt's Neurologyの最新版が出版されるや否や図書館にそれを求めて来る、図書館好き、本好きな医師の希望に応えようと、自館にて受入れから目録、装備に至るまでラッシュで対応し、街の本屋よりも早く、図書館で最新刊が読める状況を作る。こんな職人気質な仕事をしてきた時代も移りすぎ、メディアセンター本部の受入れ、整理ラインで全地区の作業プロセスを一括処理するという合理性を追求した仕組みの導入を経て、今や信濃町メディアセンター(以下、信濃町MC)では図書予算の90%以上を電子資源購入費に費やす時代となっている。

こうした内部処理の変遷とともに、電子版の雑誌、図書はここ10年で急激に増加し、医学研究者、医療従事者に浸透した。インターネット学術利用の黎明期、1990年代初頭の図書館員には想像できなかった環境に今の私たちは置かれている。論文は電子的に出版された時に入手できなければ最新情報には出会えないし、研究者のコミュニティもSNSを活用して変化し続けている。冒頭にあげたような海外の代表的な教科書についても電子版の利用がすっかり定着している。

図書館蔵書が貴重な学術情報源として最も身近な存在であった時代とは異なり、海外のサーバやネット上の電子化された玉石混淆の情報源からいかに早く正確に、求められている情報を利用者へ届けるか、という課題への対応が私たちにとって重要な仕事となっている。

しかしながら電子化された情報源があればそれだけで研究、医療、教育を支援できるわけではない。研究は英語論文を追えばかなりの部分は済むかもしれないが、医療や教育支援にはまだ日本語資料は欠

かせない。そのため、電子化されていない日本語資料へのアクセスや組織化は今もなお重要な図書館業務である。さらに、学術情報の電子化により来館機会の減った研究者にとって、書棚をブラウズする効果に代わるものを提供する必要もある。このような問題意識のもと、いかにサービスを利用者の手元へ届けるか、図書館及び情報源を有効に使っていただくか、アウトリーチの手段を考え、試行錯誤しながら創意工夫を続けている。以下はその現場報告として読んでいただきたい。

2 信濃町MCのプリントコレクション

(1) プリントコレクションの蔵書数

信濃町MCが所蔵する蔵書数は、図書13万冊、雑誌28万冊。そのうち1985年以前の図書4万8千冊と1993年以前の雑誌15万冊は、保存書庫である山中資料センターに配架している。

館内の配置は、資料を発行年代ごとに分け、利用者が短時間で文献を入手できるように配架している。最も良く利用される最新号から約1年分の雑誌は、1階くつろぎ閲覧エリアに96誌とそれ以外を1階書庫の壁際に配架している。くつろぎ閲覧エリアの配架タイトルは、図書委員会の先生方にご協力いただき学生や研修医向けのタイトルを選んでいただいたこともあり、とても良く利用されている。それより古いものは、年代によって書庫2階～4階、地下書庫に配架している。単行書は、2001年以降を1階書庫、1986年～2000年を地下書庫に配架している。

特に利用が多い新着図書、教科書コーナーは、図書館入ってすぐの書架に配架している。(図1)

特集1 プリントコレクションの今



図1 新着図書・教科書コーナー



図2 信濃町MCホームページ教科書リスト

(2) 新着図書コーナー

新規に受け入れた図書は、新着図書書架に表紙が見えるように1週間展示し、毎週金曜日に入れ替えている。展示期間中も貸出しているため、人気の資料がわかる。非来館者向けにホームページで新着図書リストを書影付で掲載し、Twitterでおすすめ本の紹介をスタッフのコメントつきで配信している。

(3) 教科書コーナー

学部生の要望により2011年より教科書コーナーを開設した。医学部2年生～6年生、看護医療学部3年生のシラバスに指定されている教科書、参考書、推薦書を、学年・教科ごとに配架している。教科書コーナーでは、各分野のコアコレクションが一覧できるため、学部生以外にも研修医や三四会員（医学部卒業生）その他の利用者にも大変好評で手にとり閲覧している様子をよく見かける。利用は、館内閲覧のみとし、貸出はできないが、同じ本を同じ請求記号で書庫1階に配架している。非来館者向けには、KOSMOSのタグ機能を使って指定資料にタグを付与し信濃町MCホームページの教科書コーナーに学年毎のリストを掲載している。

また、信濃町MCでは、電子資料の購入を積極的に行っている。教科書に指定されている図書が電子で利用できるものもいくつかあり、現物の背に「電子ブック」の表示をつけ、プリントコレクションと同様に当館ホームページの教科書コーナーより参照できるようにしている（図2）。

(4) 医学部電子教科書利用実験

医学部では、医学部100年を迎える2017年度までに医学部2年生から6年生の全員にiPad配布が企画され、電子教材を積極的に活用するための環境を目指し整備が進んだ。信濃町MCは、医書出版社より提供されたデジタルコンテンツ利用のためホームページの立ち上げと電子教材利用調査を担当し2013、2014年度にアンケート、インタビューを実施した。その結果、電子ブックの利点は、持ち運びに便利、いつでも利用できる、保管場所がいらぬ、文中のことで検索できる等が挙げられた。欠点については、書き込みにくい、目が疲れる、電子では頭に入りやすく、勉強に向かないという意見があった。受験勉強を通じて本に書き込みしながら読むスタイルが身につけているため、書籍を電子版で読むことに対して抵抗があるという意見もあった。

また、電子ブックの利用は、個人のITリテラシーに左右されることや、教科書指定となるコアタイトルに関しては、プリント版購読の重要性を認識することができた。

3 利用からみたプリントコレクションの現在と将来

海外の代表的なジャーナルや教科書の多くが電子化された現在、プリントコレクションのニーズはどこにあり、将来どのように変化していくだろうか。選書業務を担当する立場から実際の利用データを基に概観してみたい。

学内利用者のプリントコレクションへのニーズがあらわれるものとして、貸出統計や外部へのILL依頼、オペレータ複写依頼等いくつかのものがあるが、過去2年間の図書の貸出統計からは以下の傾向がみ

てとれる。

- (1) 出版後2～3年までの利用が最も多い。その後漸減し、10年で半減し、20年で利用がほぼなくなる。
- (2) 和書の利用が殆どで洋書の利用は2%。
- (3) 分野別では看護学(WY)が最も良く利用されている(貸出全体の20%)。次いで循環器系(WG), 神経系(WL), 消化器系(WI), 精神医学(WM)の利用が多い。
- (4) 2で述べた教科書・参考書を除くと、各分野とも診療ガイドライン, 研修医向けのマニュアルの利用が多くみられる。加えて手術手技書やリハビリテーションに関するものなど現場において必要とされる手技・手法に関する資料の需要が高い。

診療・研究において最新の知見が必要とされていることは当然のことながら、貸出のほとんどは日本語資料が占めている。貸出の多い分野や資料からは、病院スタッフの半数を占める看護師や診療経験年数の少ない研修医、さらには理学療法士や作業療法士などのコメディカルスタッフのニーズが読み取れる。

日本語資料の電子化が進むことによりプリントコレクションの需要は低下すると考えられるが、利用の中心が医療現場で必要とされる実用的なコンテンツであることから、電子資料の利用がどれだけ浸透するかは、利用する側の習慣や環境にも左右されると考えられる。また電子書籍として単に電子化され単体で機能するだけでなく、教育や診療の現場で用いられる様々なツールやシステムの中に組み込まれて活用できる形で提供されることでより利用が促進されるのではないだろうか。

2016年に入り、国内医学書の電子書籍プラットフォームが立ち上がり、サービスが開始されたが、機関向けのサービス開始時期は未定となっている。今後数年は限られた予算のなかで、引き続き従来のプリントコレクションと電子資料を並行して提供し、利用動向を見ながらニーズに応じて行く必要がある。

今回詳しく述べなかったが、雑誌も同様に日本語資料においてプリントコレクションの需要がある。しかしJ-Stageや商用パッケージ製品を通して国内医学雑誌の電子提供が進み、プリント版の刊行を中

止する学会が増えていることから、将来の需要は限られたものになると考えられる。電子化されたプリントコレクションの保存を誰が責任をもって行うかが残された課題である。

4 おわりに

信濃町MCでは、2017年4月から新着図書・教科書コーナーの隣に新たに診療ガイドラインのコーナーを設ける予定となっている。これまでは分野ごとに他の書籍と並べて配架されていたが、先の貸出統計にあらわれているようにプリントコレクションの需要が高く、最新版の参照が必須とされることから、独立してコーナーを設けることとなった。これも電子化されていない日本語資料へのアクセスを改善する試みのひとつである。目に見える形ではあらわれないが日々の業務が現在および将来の医療従事者や研究者の活動を支え、さらにはその成果を享受する方により良い結果がもたらされることを信じて、今後も試行錯誤を続けニーズに合致したサービスを提供していきたい。